

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0195800016		
法人名	特定非営利活動法人 ほのか会		
事業所名	グループホーム ふるさとの丘		
所在地	夕張郡長沼町東2線北15号		
自己評価作成日	平成29年2月6日	評価結果市町村受理日	平成29年3月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームを地域の方々に広く周知していただき、交流の場としてだけでなく様々な用途でご利用くださるよう町内会様等へ働きかけを行い、現在までに婦人会の方々や地域の方々の集会所(コミュニティ)として、また皆様へ催し物をご提供して下さる場としてご活用いただきました。毎月第四日曜日に地域のお茶の間「ライスカレー」として地域の皆さんが集える場を提供し夏祭り、クリスマス会などにも参加して頂いております。利用者様のレクリエーションとして広い敷地を利用しパークゴルフ、野菜の栽培など生活に楽しみを与えることを重要とし日常生活環境を整備することを含め生活全体の心地よさを提供できるように努めています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kan=true&JigrosyoCd=0195800016-00&PrefCd=01&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	平成29年3月3日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「GH ふるさとの丘」は長沼町の北長沼に位置し、自然の豊かな住宅地にある1ユニットの事業所である。元保育園を改造した建物の敷地には事業所の畑、東屋、パークゴルフ場があり、利用者は田園風景を眺めて散歩したり、住民と共にパークゴルフ大会を楽しんでいる。畑の世話や収穫などの後に東屋でお茶を飲んでゆったりと休憩している。小学校の学芸会やお祭りに出かけてゲームに参加したり、学校帰りに児童が事業所に遊びに来るなど、子供との交流が楽しみになっている。事業所に職員として勤め、2年前に就任した管理者は、ケアマネジャーと共に運営や職員の資質向上に向けて熱心に取り組んでいる。勉強会や業務の中で学びを深め、ケアマネジャーを中心に3か月ごとに介護計画を更新し、個別の思いやニーズに沿ったケアを行っている。職員は穏やかな姿勢で利用者に接し、意向を引き出して自信が持てるように関わっている。食材の買い物に利用者とは出かけて簡単な調理やおやつ作りに利用者も参加している。誕生日には好きな料理と手作りケーキでお祝いし、盛りつけに彩りを添えて美味しい食事を提供している。管理者と職員は利用者がゆったりと家庭的な環境で過ごせるように日々理念を意識して対応している。外出行事の他に希望の外出を支援し気分転換を図っている。建物内に地域交流会の場を提供し、毎月の交流「ライスカレー」に参加している住民に緊急時の協力も得て体制を整備したいと考えている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	定期的(ミーティング時)に理念を唱え、その意義についても管理者を含めたスタッフ間で確認し共有できるよう努め実践へと繋げています。	理念の「ゆったりと楽しく」「自由に、ありのままに」「暮らしの喜びと自信を」「地域とともに」の4項目を職員間で共有し、日々実践している。理念に沿って利用者が自分で決められる場面をつくり、自信につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	当ホームを幅広くご活用いただけるよう地域の方々へ働きかけ、コミュニティなどの場として活用いただいています。小学校の学芸会、お祭り等に招待されたり地域の盆踊り大会に参加しております。	町内会行事や事業所の夏祭りを通して住民と交流している。小学校のお祭りなどに参加したり、学校の帰りに児童が遊びにきている。近くの町営プールに来ている保育園児の声を聞き、帰るバスを見送る事もあり、子供と自然に触れ合っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎月1回行っております地域の方々へ向けた交流会の場などを通じて、認知症の方々への理解、身体面のケア、精神面のケアなど日々の実例を基にお話して頂いております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議にて当ホームの活動内容について報告し、そこでいただいたご意見を参考にサービスへ繋げられるよう努めております。評価への取り組みについては今後、報告していきたいと考えております。	会議の開催回数は、毎年外部評価を実施する条件で年2回の見解を得ている。外部評価の実施を報告している。今後は取り組み内容を上げて意見を得たいと考えている。防災、研修報告、ターミナルケア、感染症をテーマに意見を交換している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	長沼町の実施するサービス調整会議(月1程度)へ出席し他事業所とサービスを含めた実情や現状、困難事例等を報告し合い、様々な専門分野の方からアドバイスなどを受けられるような関係にあります。	書類関係は本部が行い、管理者は町主催の研修に参加し、勉強会で内容を共有している。「ふまねっとサポーター養成」講習会に参加して事業所内で行い、効果も出ている。今後法人内でも行い、町の取り組みに協力している段階である。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束となる具体的な行為をマニュアル化し共通の理解へと努め、身体拘束の排除に積極的に取り組んでいます。	町主催の身体拘束に関する研修に参加し、勉強会で内容を深めている。身体拘束禁止行為の11項目を理解し、事例を取り上げて拘束をしない方法を話し合っている。職員採用時にマニュアルに沿って説明し、業務の中でその都度指導している。ケア場面で言葉遣いが気になる時は注意している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待についての研修を行い、事業所全体で共通の理解をもって虐待が見逃されることのないよう努めており、その防止についても力を入れています。		

グループホーム ふるさとの丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度を学ぶ機会があったが、これまでその制度を利用するに至るような事例はありませんでした。必要性があると判断した際には、それらを活用できるよう支援していきます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	口頭だけではなく文書も用い十分な時間をかけ説明を行い、納得いただけるよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部者もみえる行事や運営推進会議等の際に意見、要望があれば話し合いの場を設け運営に反映させていきます。	家族の来訪時に健康状態などを報告し、意見や要望の内容を利用者ごとに記録している。今後は「家族ノート」を活用して些細な意向なども記載するとともに、毎月送っている通信にメッセージ欄を設けて普段の暮らしを伝えたいと考えている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	よりよい職場環境をつくるためミーティングやその他、思いついた時等に意見、提案を出してもらい、それが反映されるよう話し合いの場を設け実行しています。	ミーティングと勉強会を交互に毎月会議を行い、参加できない職員の意見を事前に聞くこともある。業務の担当制を試みたが現場の負担もあり、勤務者を中心に業務を分担している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、やりがいや向上心を持てるよう個々の能力に合った責任ある仕事を任せ、それに合った給与等を含めた労働条件の整備に努められています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は、管理者や職員がケアの質の向上を図れるよう研修の機会を確保していただき、実践へと繋げることを推進されています。ふまねっとサポーター養成講習会に参加し認知力低下の予防やバランス機能の向上を目指しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	サービスの質の向上やネットワークづくりを目的に同業者主催の研修や勉強会へ参加させていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用開始にあたり、ご本人が抱えている問題や不安へ耳を傾け主体性を尊重し安心できる関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスの利用開始にあたり、ご家族の抱えている問題等を伺い信頼関係の構築に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族がどのような支援を必要とし望んでいるのかを幅広い視野で見極め、柔軟な対応ができるよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員はご本人を介護されるだけの弱い立場に置かず、互いに共生するものとしての関係性を築けるよう努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員はご本人を支援する上でご家族へも協力を求め、ご家族参加型の支援となるよう努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族と共にご本人の知人、友人やご自宅など大切にされてきた場所との関係を継続できるような支援に努めています。	年に数回、友人、知人が来訪している。定期的に留守宅の仏壇をお参りに行く利用者の意向を継続できるように支援している。施設入所している家族の面会に、家族や職員が同行している。白鳥を見に行くなど馴染みの場所に出かけることもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者同士の関係、利用者の個々の性格など把握し孤立することなく関わり合い支えあえるような支援に努めています。		

グループホーム ふるさとの丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院等による退所後も定期的にご家族と連絡を取りつつ経過を見守り、状況に応じ相談や支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	少しでもより良い生活を送っていただくため、希望や意向の把握に努めています。	日々会話の中で意向や意味を汲み取ってケアに活かしている。センター方式のシート(C-1-2)を活用し、変化がある時は追記や更新をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	限りある資源の中で、様々な生活習慣をできるだけ変えることなく生活スタイルを維持、継続出来るような生活歴等の把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりに合った支援を提供するため、そうした現状の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議の場だけでなく日頃いただいているご本人やご家族の意見等も参考に、ご本人の現状に即した介護計画となるよう努めています。	介護計画を3か月毎に見直し、ケアマネジャーを中心に、アセスメント、モニタリングを行い会議で確認後に更新計画を作成している。日々の記録は計画表を見ながら実施内容をチェックし、更に見直しに活かせるように記載の工夫を重ねている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の生活の様子を介護計画に照らし合わせながら記録し、職員間で連携をとり情報を確認しながら実践や見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々状況に応じ、既存のサービスに捉われない柔軟な発想で対応するよう努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安全で豊かな暮らしを提供できるよう地域資源を一人ひとりの暮らしへ結び付けることに努めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	出来る限り、それまで通院されていたかかりつけ病院で希望の医療を受けられるよう、支援に努めています。	半数の利用者は月2回の訪問診療を受けている。町立病院の受診は事業所でも対応し、主治医の説明が必要な時は家族も同行している。受診結果を電話や来訪時に報告し、内容は受診経過記録で利用者ごとに往診、通院を分かりやすく記載している。	

グループホーム ふるさとの丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は、入居者様が適切な診療、看護を受けられるよう看護職員へ一人ひとりの情報を的確に伝えることに努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際、安心して治療を受けられるよう、また認知症の進行が懸念されるため早期に退院できるよう、病院関係者と面会時や電話での情報交換、相談に努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期に向けた方針について契約書に明記されており、実際に状態が悪化しつつあり回復が見込めない可能性があるため医師より診断された場合や想定される場合、ご家族や医師と今後の方向性について協議し、実践へと繋がるよう努めています。	利用開始時に、本部で対応指針を文書で説明し、同意を得ている。病状の変化に応じて主治医の説明や判断を下に方針を話し合い、共有してケアを行っている。週1回の訪問看護師を講師に看取りの勉強会を予定している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	避難訓練を行う際に、初期対応等の訓練を合わせて行い、万一の場合に備えています。心肺蘇生、AEDの使用を受講しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時等の訓練を万一の場合に備え日中、夜間想定ともに行い発電機の使用法、防災マニュアル、備品の確認をしております。地域との協力体制についてはご案内いただきましたがご多忙の為、参加して頂けることが出来ませんでした。	昨年は、日中の地震を想定した訓練を消防署指導の下で行っているが、住民の参加は得られていない。本部で非常災害対策計画を作成し、事業所内でも確認している。職員救急救命訓練を実施し、各災害時を想定して備蓄品類も整備している。	3月の夜間を想定した避難訓練に、住民への具体的な呼びかけで参加が得られるよう期待したい。また地震等を想定し、事業所内の危険な箇所や各ケア場面での対応を話し合うことも期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し誇りやプライバシー、自尊心を損ねない様、意識して声がけ、促しの対応に努めています。	一人ひとりを尊重し、無理強いないケアに努めている。認知症高齢者の対応について、内部研修を行っている。	接遇に関する内容の勉強会を開催する予定であるので、その実現に期待したい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	懇切丁寧な態度で接し、思いや希望を表現しやすい環境をつくることに努め、人格を尊重し自己決定できるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	限りはありますが出来る範囲の中で最大限、一人ひとりのペースで希望にそった生活を送れるよう支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えの際に一緒に洋服を選んだり、ひげが伸びていないか、髪が乱れていないか等に配慮するよう努めています。		

グループホーム ふるさとの丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	同じメニューでも一人ひとりの好みや状態に合わせた食材、硬さ、形状等に配慮し、簡単な調理、準備、下膳、食器洗い等ができる方についてはお手伝いをお願いし共同作業するよう努めています。	買い物、食材の下拵え、下膳、おやつ作りなどに利用者が参加している。畑で収穫した野菜類を用いて、旬を味わう一品を加えたり、季節の行事食を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の食事、水分が適正量、確保できるよう、一人ひとりの状態、習慣等に応じた支援に努めています。食事前に臍下体操を実施しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝、昼、夕食後の3回、本人の状態に合わせた口腔ケアを心がけ、清潔保持に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の失敗を減らすため一人ひとりの排泄パターン、習慣を把握し、自尊心を傷つけぬ様、排泄の促し、誘導など自立支援に努めています。	全員の排泄チェックを行っている。入居後、失禁が見られなくなった利用者もいる。トイレでの排泄動作では、声かけやウォッシュレットの説明などをして、自分でできることを促してケアを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響を理解し、食事や水分摂取、適度な運動を促すことで予防に繋がるよう努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴に当てられる時間の範囲内で、できる限り一人ひとりのペースや希望にそった入浴を提供できるよう努めています。	週4日、午後の時間帯で入浴を定めて対応しているが、随時、利用者の状況に応じている。拒否はなく、入浴は好まれている。入浴の際は、一人ひとり湯道具を持参している。家族と温泉に出かける利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣を把握した上で、その時々状況に合わせて臨機応変に対応し、安心して気持ちよく眠れるよう支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の作用や用法、容量等について正しく理解し、日々の状態観察に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりが充実した日々を送れるよう役割を持っていただいたり、楽しみごとを一緒に行ったり、また模索しつつ気分転換等の支援に努めています。		

グループホーム ふるさとの丘

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	職員が手薄の時や突発的な事情により希望日に外出できないこともありますが、ご家族の協力を得たり、外出の機会を増やせるよう努めています。ホームの買い物などに同行して頂く事もあります。月2回音楽教室に参加しております。	周辺の畑や田んぼ、花畑を眺めながらの、のんびりゆったりとした散歩や東屋での一服を楽しんでいる。行事的な外出では、お花見、紅葉狩り、白鳥見学、買い物ツアー、初詣などに出かけている。同法人グループホームの音楽療法や住民のパークゴルフ大会に参加している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を遣われる機会は少ないのですが、持っているだけで安心するという方も多いため、管理できる方については所持していただいています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればご家族や大切な方へ電話を取り次いだり、手紙を代筆し送るといったところまで等の対応に努めています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間を出来るだけ快適にご使用いただくため、狭くしたり障害となる物を置かないことやいつも綺麗な状態にしておくことに心がけています。また室内に光や風等を取り入れる際は、不快とならないこと等へ注意を払い「住みよい家」となるよう努めています。	玄関、居間などの共用空間は広く明るい造りで、外の四季折々の景色が十分見渡せるなど、開放感がある。地域交流スペースとして活用している多目的室があり、ちょっとしたお出かけ場所になっている。エアコンを完備し、温度調整が可能である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間のスペースを広くとり、一人ひとりが思い思いに過ごしていただけるよう表情や行動等へも注意を払い快適な空間づくりに努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人やご家族と相談、確認しながら、居室へはできるだけ使い慣れたもの、好みのお持ちいただき居心地よく過ごしていただけるよう努めています。	吊り棚、チェスト、クーラーを備え付けている。使い慣れた家具など、愛着のある物を持参してもらっている。利用開始前の習慣や趣味が、居室内でもできるようにサポートしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	一人ひとりの日々の状態やその時々危険を予測していき、「できること」や「わかること」を活かし、安全かつできるだけ自立した生活を送れるよう努めています。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム ふるさとの丘

作成日：平成 29年 3月 12日

市町村受理日：平成 29年 3月 24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	入居者様一人一人の人格や尊厳、プライバシーに配慮した声掛け等にかけていることがある。	入居者様の人格や尊厳、プライバシーに配慮した接遇を身につける。	不適切な言動、批判などの対応をした際は、その度注意をし、研修、ミーティングを通し適切な接遇の意識を高める。	1年
2	35	避難訓練に地域住民の方の参加がされていない。	地域住民の方が一人でも多く避難訓練に参加する。災害対策計画、防災マニュアルをミーティング時、全職員で確認する。	運営推進会議や月一回の地域の方たちとの交流の場などを通して避難訓練への協力を働きかける。事業所内の危険な箇所をチェックし、どのような場面でもケア、支援出来る様にミーティングなどにおいて話し合う。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。